

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和103年03月22日

計画の名称	JR宇都宮駅西口地区市街地再開発事業整備計画												
計画の期間	令和03年度～令和07年度(5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	宇都宮市												
計画の目標	<p>JR宇都宮駅西口地区(以下、「駅西口地区」という。)は、広域交通と域内交通の結節する交通の要衝に位置し、本市が目指す都市の姿である「ネットワーク型コンパクトシティ(連携・集約型都市)」の中核となる都市拠点の一つの核を成す地区であり、広域交流拠点にふさわしい風格ある都市空間の創出や高次な都市機能の集積、交通結節点の強化を図ることは、本市のさらなる発展・繁栄に欠かすことができない重要な取り組みである。</p> <p>このような中、JR宇都宮駅西側におけるLRT延伸計画や西口駅前広場の再整備などと合わせて、駅西口地区における市街地再開発事業等を推進し、北関東の中核都市にふさわしい活力と魅力あるまちづくりを実現することで、人口減少社会の中においても、都市機能が持続可能であるよう、広域交流人口及び居住人口の増加を目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,590	A	2,590	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

計画の成果目標(定量的指標)				
番号	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	駅前通り1丁目、3丁目の居住人口(夜間人口)を572人(R2)から790人(R7)に増加させる。 住民基本台帳により、JR宇都宮駅西口地区における「居住人口(夜間人口)」を把握する。	572人	人	790人
2	当該事業地区に隣接する主要道路の路線価を145千円/㎡(R2)から、155千円/㎡(R7)へ上昇させる。 国税庁HPより、当該事業地区に隣接する主要道路における土地等の評価額の基準となる路線価を把握する。	145㎡/円	㎡/円	155㎡/円
3	JR宇都宮駅(東西自由通路内)における歩行者通行量を13,614人(R2)から15,075人(R7)に増加させる。 通行量調査により、JR宇都宮駅(東西自由通路内)における「歩行者通行量」を把握する。	13614人/日	人/日	15075人/日

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中核都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接							R03	R04	R05	R06	R07					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	宇都宮市	間接	民間	—	—	市街地再開発事業（宇都宮駅西口南地区）	A=約0.2ha RC造20F	宇都宮市	■	■	■	■	■	2,590	1.78	—		
												小計						2,590			
											合計						2,590				